

保育所・認定こども園・幼稚園をとりまく現状と課題について

委員からのご意見（抜粋）

- 保育所・小学校・中学校と進級していくなかで、同じメンバーで生活していくメリット・デメリットまでしっかりと考えて行く必要があると思う。
例えば、庄川地区の4つの保育所を一つにまとめると、12年間（保育所3年間+小学校6年間+中学校3年間）ずっと同じメンバーで過ごすことになり、子どもの育ちが心配であり、保育士や小学校・中学校の教諭の思いも聞くべきかと思う。
- 1クラスあたりの子どもの数が少なすぎる場合、子どもの育ちにつながるなどの課題については良くわかっている。
- 東山見保育所に統合する場合、保育所に行くための道の整備の必要性や、小学生と車の接触事故が起こることが予想される。
反面、青島保育所は、歩道の設置など保育所周辺の道路も整備され、見通しも良く運転しやすい。また、ドライバーも保護者も注意しながら運転している。
園児数も大事だが、立地条件も考慮して統合されたい。
- 保育の量的ニーズが減るからこそ、保育の質を向上させていくべき。
良質な施設を残し、適正な人員配置にして質の高い保育を目指して欲しい。そうすることで、砺波市で子どもを産み、育てたいと思う人が増え、砺波市の少子化に歯止めがかかれば良いと思う。
- 保育所の建物の安全性について、鷹栖保育所の耐震化の予定はどうなっているか。
子ども達の安心安全を最優先に考えていただきたい。